

自営業者の被扶養者認定について

自営業者の収入について

自営業者等の収入については、『総収入から「**直接的必要経費（※）**」を差し引いた額』となっています。直接的必要経費とは税法上の必要経費とは異なり、「生産活動に要する原材料等の費用」であり、事業所得を得るために必要と当健康保険組合が認定した最低限度の経費としています。

それ以外は直接的必要経費として認めません。

【一般所得用】

科 目	可否	備 考
租 税 公 課	×	
荷 造 運 賃	○	
水 道 光 熱 費	△	※自宅と事業所が同一の場合、50%を直接的経費として認めます。
旅 費 交 通 費	△	通勤に伴う費用は直接的経費として認めません。
通 信 費	△	※自宅と事業所が同一の場合、50%を直接的経費として認めます。
広 告 宣 伝 費	×	
接 待 交 際 費	×	
損 害 保 険 料	×	
修 繕 費	○	
消 耗 品 費	△	※自宅と事業所が同一の場合、50%を直接的経費として認めます。
減 価 償 却 費	△	原則不可。ただし同年中に購入したものについては、その内容を申告（裏づけする書類（※）を添付の上）いただいた場合に限り、個別に判断をさせていただきます。その場合は「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。※領収証等（注：「支払日」「支払者」「支払先」「購入物」が明確なものに限ります。レシートは認められません。）
福 利 厚 生 費	×	
給 料 賃 金	×	
外 注 工 賃	○	
利 子 割 引 料	×	
地 代 家 賃	△	※自宅と事業所が同一の場合、50%を直接的経費として認めます。混在している場合は、「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。
貸 倒 金	×	
雑 費	△	原則不可。ただし同年中に購入したものについては、その内容を申告（裏づけする書類（※）を添付の上）いただいた場合に限り、個別に判断をさせていただきます。その場合は「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。※領収証等（注：「支払日」「支払者」「支払先」「購入物」が明確なものに限ります。レシートは認められません。）

※ 直接的経費とする金額は、確定申告時の控除額を上限として健保組合が認めたものとします。

なお、扶養申請時には下記の「**直接的必要経費申告書**」を添付してください。

「○」・・・直接的必要経費として認める経費

「△」・・・条件（備考を参照）付で直接的必要経費として認める経費

「×」・・・直接的経費として認めない経費

※ 可否が「○」となっている経費は、原則その裏づけとなる資料は不要ですが、必要に応じて求める場合があります。

※ 可否が「△」となっている経費は、必要に応じて「直接的必要経費申告書」を提出してください。

※ 収支内訳書（損益計算書）の経費欄の項目にない「経費」については、「雑費」と同様に扱います。

科 目	可 否	備 考
給 料 賃 金	×	
減 価 償 却 費	△	原則不可。ただし同年中に購入したものについては、その内容を申告（裏づけする書類（※）を添付の上）いただいた場合に限り、個別に判断をさせていただきます。その場合は「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。※領収証等（注：「支払日」「支払者」、「支払先」、「購入物」が明確なものに限ります。レシートは認められません。）
貸 倒 金	×	
地 代 賃 金	△	※自宅と事業所が同一の場合、50%を直接的経費として認めます。混在している場合は、「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。
借 入 金 利 子	×	
租 税 公 課	×	
損 害 保 険 料	×	
修 繕 費	○	
雑 費	△	原則不可。ただし同年中に購入したものについては、その内容を申告（裏づけする書類（※）を添付の上）いただいた場合に限り、個別に判断をさせていただきます。その場合は「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。※領収証等（注：「支払日」「支払者」、「支払先」、「購入物」が明確なものに限ります。レシートは認められません。）

※ 直接的経費とする金額は、確定申告時の控除額を上限として健保組合が認めたものとします。
 なお、扶養申請時には下記の「直接的必要経費申告書」を添付してください。

「○」・・・直接的必要経費として認める経費

「△」・・・条件（備考を参照）付で直接的必要経費として認める経費

「×」・・・直接的経費として認めない経費

※ 可否が「○」となっている経費は、原則その裏づけとなる資料は不要ですが、必要に応じて求める場合があります。

※ 可否が「△」となっている経費は、必要に応じて「直接的必要経費申告書」を提出してください。

※ 収支内訳書（損益計算書）の経費欄の項目にない「経費」については、「雑費」と同様に取り扱います。

科 目	可 否	備 考
雇 入 費	×	
小 作 料 ・ 賃 貸 料	○	
利 子 割 引 料	×	
租 税 公 課	×	
種 苗 費	○	
素 畜 費	○	
肥 料 費	○	
飼 料 費	○	
農 薬 衛 生 費	○	
農 具 費	○	
諸 材 料 費	○	
減 価 償 却 費	△	原則不可。ただし同年中に購入したものについては、その内容を申告（裏づけする書類（※）を添付の上）いただいた場合に限り、個別に判断をさせていただきます。その場合は「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。※領収証等（注：「支払日」「支払者」「支払先」「購入物」が明確なものに限ります。レシートは認められません。）
修 繕 費	○	
動 力 光 熱 費	△	「住居用」と「事業用」が混在している場合は 50%のみ直接的必要経費として認めます。混在している場合は「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。
作 業 用 衣 料 費	○	
農 業 共 済 掛 金	△	原則不可。ただし、任意加入ではなく、必ず加入しないといけないものについては、その内容を申告〔裏付ける書類（※）を添付の上〕いただいた場合に限り個別に判断させていただきます。その場合は「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。※領収証等（注：「支払日」「支払者」「支払先」「購入物」が明確なものに限ります。レシートは認められません。）
農地物件以外の棚卸高	×	
経費から差引く果樹 牛馬等の育成費用	×	
⑩（所得金額）のうち、肉 用牛について特例の適用を 受 け る 金 額	×	
荷 造 運 賃 手 数 料	○	
貸 倒 金	×	
土 地 改 良 費	○	
雑 費	△	原則不可。ただし同年中に購入したものについては、その内容を申告（裏づけする書類（※）を添付の上）いただいた場合に限り、個別に判断をさせていただきます。その場合は「直接的必要経費申告書」にて、自己申告ください。※領収証等（注：「支払日」「支払者」「支払先」「購入物」が明確なものに限ります。レシートは認められません。）

※ 直接的経費とする金額は、確定申告時の控除額を上限として健保組合が認めたものとします。

なお、扶養申請時については下記の「直接的必要経費申告書」を添付してください。

「○」・・・直接的必要経費として認める経費

「△」・・・条件（備考を参照）付で直接的必要経費として認める経費

「×」・・・直接的経費として認めない経費

※ 可否が「○」となっている経費は、原則その裏づけとなる資料は不要ですが、必要に応じて求める場合があります。

※ 可否が「△」となっている経費は、必要に応じて「直接的必要経費申告書」を提出してください。

※ 収支内訳書（損益計算書）の経費欄の項目にない「経費」については、「雑費」と同様に取り扱います。